



図書館だより 9月



NO.5

2014/09/01

ノートルダム学院小学校図書館



「秋の香り」

9月を迎えて朝夕は秋の風を感じるように

なりました。だんだん日も短くなり、夜が長くなるので、古いよび方では9月のことを「夜長月（よながつき）」と言い、略して「長月」とも言います。

「秋の野に咲きたる花を指折りかぞふれば七種の花… はぎの花・尾花（ススキ）・葛の花・撫子の花・女郎花・藤袴・朝顔の花（キキョウ）」秋の七草の始まりとされる万葉集にある山上憶良の旋頭歌です。今ごろは野原に自生しているものが少なくなりましたが、これらの植物は、古くから人々のくらしとかかわってきたものです。「ハギ」は、江戸時代、8月15日に行われた元服の儀式で使うたんごをこの枝にさして食べたそうです。「ナデシコ」は「トコナツ」とも言って、不幸の多い夏に、この花をかざってもう一度正月（はやり正月）を祝ったものです。「秋の七草」の覚え方にはいろいろありますが、みなさんはどのように覚えましたか。「おすきなふくはー」「ハスキーなおふくろ」などあるそうです。

「夏休みの読書は」

時間を気にせず、好きなだけ本を読むことのできる夏休み。ワクワク・ドキドキしながら読んだ本、時間をかけて読み切った長編もの…など、心に残る1冊の本。きっと心の友だちを1つ2つとふやすことができたことでしょう。「ND読書100選」の本を中心にチャレンジできた友だちがありました。もうすぐ「秋の読書週間」も始まります。秋の夜長に読むのにピッタリの本がたくさんそろった図書館に来てください。

「世界に目を向けて」

今も世界のどこかで戦争におびえている子どもたちがいます。今もどこかで飢えに苦しんでいる子どもたちがいます。9月21日は「国際平和デー」（世界停戦日）です。1981年に国連が定めた日です。国連本部ではこの日、世界の子どもたちから贈られた硬貨で造られた平和の鐘を鳴らし、戦争をやめるように世界中によびかけます。

戦争の中の子どもたちを知る本

- 生きのびるために デボラ・エリス さ・え・ら書房
- ダイヤモンドより平和がほしいー子ども兵士ムリアの告白 後藤健二 汐文社
- 戦火をくぐった唄ー三日月センセイと三人の子と 西村滋 講談社
- 平和の夢ー自爆攻撃にまきこまれた少女の日記 バット・ヘン・シャハク PHP出版
- ちいさな命がくれた勇気ーナチスと戦った子どもたち キャシー・ケイサー 主婦の友社
- わたしたちを忘れないでードイツ平和村より 東ちづる ブックマン社
- 戦争なんて、もうやめてー戦禍の子どもたちとー佐藤真記ほか 大月書店
- 小型武器よさらばー戦いにかり出される児童兵士たち 柳瀬房子 小学館
- ワタネマンーわたしの国アフガニスタン 長倉洋海 偕成社
- ナパーム弾とキムちゃん 早乙女勝元 草の根出版社
- おかあちゃんごめんね 早乙女勝元 日本図書センター
- アンネの日記 アンネ・フランク 文芸春秋
- 白旗の少女 比嘉富子 講談社

